長野県看護協会将来ビジョン2.0 （2025年～2040年）

周知版

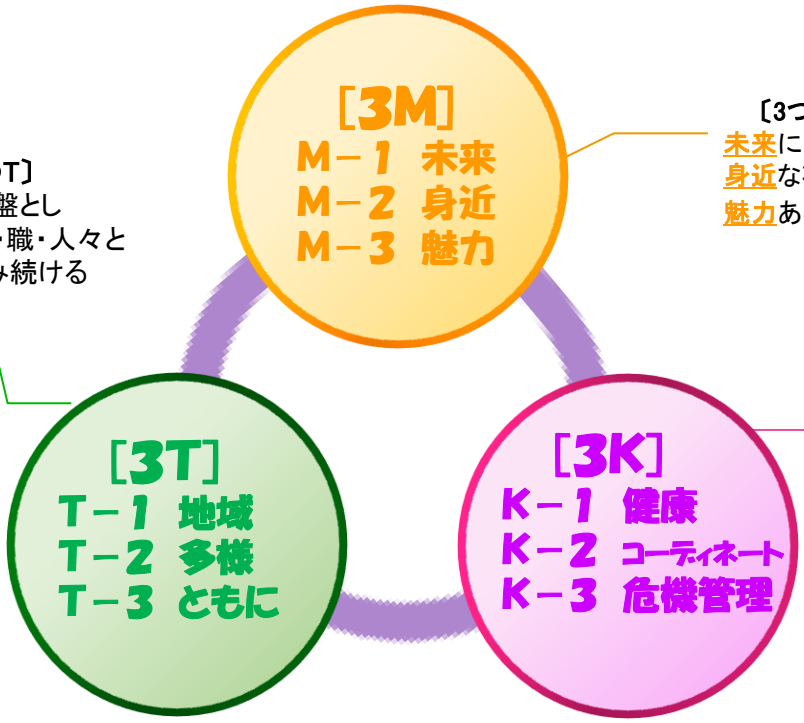
＜看護協会ホームページ＞

社会の変化に対応し、住民とともにしあわせな暮らしと健康長寿を目指します
～ ともに学び、自ら学び、健康と生活を支えます ～

2040年の長野県の看護に関わる社会の姿をイメージし、2040年に向けた課題を打ち出し、新たにビジョンを掲げ、住民にとって身近な存在である看護職として、住民とともにしあわせな暮らしと健康長寿を目指し、私たちの役割を発揮していきます。

2040年に向けた長野県看護協会の目指す看護

2040年に向けて我々を取り巻く環境が大きく変わる中においても、「いのち・くらし・尊厳を守り支える看護」という看護の基本は不変であり、長野県が目指す「確かな暮らしを守り、信州から豊かな社会を創る」を推進するために専門職として自律のもと様々な場で力を発揮していくために2040年に向けて目指す看護を提案します。



〔3つのM〕
未来に向けて住民の
身近な存在であり続け
魅力ある看護を提供する

〔3つのT〕
地域を基盤とし
多様な場・職・人々と
ともに歩み続ける

〔3つのK〕
健康づくりと人づくりにおける
コーディネーターとしての
役割を発揮しつつ
危機管理に備える

2040年の長野県の看護に関わる社会のすがた

1. 人口構造の変化と少子社会の進展に伴う人口減少・現役世代の減少
2. 地域共生社会の推進と医療機能分化・強化、連携推進
3. 人生100年時代における健康寿命の延伸
4. 災害の多発化・激甚化への備え

2040年に向けた看護の課題

1.看護職の役割拡大と質の向上

- 自分らしく生きていくための専門的支援
- 在宅看護・看取りの支援体制づくり
- 成長過程の人々へ切れ目ない継続支援
- 地域包括ケアシステム深化のための看護職連携、人材育成・確保

2.看護職の人材確保と定着促進

- 広く住民に看護の魅力を伝える
- 在宅医療を担う看護人材の確保・育成
- プラチナナース・潜在看護師の活用
- IT化・DX推進、タスクシフト/シェア推進の中での専門性の発揮

3.看護職を含む住民の健康づくりへの支援

- ヘルスリテラシーの醸成
- メンタルヘルス（こころの健康）やリプロダクティブヘルス（性と生殖に関する健康）の認知と関心の拡大
- 看護職自身のウェルビーイング向上

4.災害・新興感染症等の危機管理体制

- あらゆる場での支援・受援体制整備
- 情報共有と協働のためのシステム構築
- 平時から連携のための関係性強化
- 有事の適切な対応と看護の提供

2040年に向けた取組み

ビジョンの達成に向けて「2040年に向けた看護の課題」として打ち出した4つに、「組織力強化を加えた5つの柱」で推進していきます。具体的な活動は重点事業・事業計画として掲げ、取組み、評価しながら対応していきます。さらには、5年毎に5つの柱を評価、検討し次の5年間の取組みへと更新していきます。